

フロイント産業株式会社
STANDARD
TOKYO
(証券コード 6312)

2022年2月期 決算説明資料

2022年4月27日

 **FREUND**

目次

- 2022年2月期 連結決算概況 . . . P.02
- 2023年2月期 連結業績・配当予想 . . . P.16

- 中期経営計画 . . . P.20

- <参考資料> . . . P.25
- <Factsheet> . . . 別紙

2022年2月期 連結決算概況



連結決算サマリー

- 前年比増収減益。
- 国内は順調ながらも、海外子会社の部材調達逼迫による出荷遅延の影響を大きく受ける。
- 表面上減益だが、前年の米国子会社の特殊要因約3億円（補助金約2億円、保険金約1億円）の要因を勘案すれば、営業利益・経常利益は実質的には前年比増益。
- 当期純利益は、特別損失約2億円計上により減益幅拡大。

(単位：百万円)	2021/2月期	2022/2月期	前年同期比増減		期初予想
			金額	%	
売上高	16,765	17,632	+866	+5.2%	18,500
営業利益	1,111	981	△129	△11.6%	1,100
経常利益	1,308	1,032	△275	△21.1%	1,130
当期純利益	970	543	△427	△44.0%	790
一株純利益 (円)	57.96	32.46	△25.50	-	47.18
受注高	12,386	15,621	+3,234	+26.1%	-
受注残高	6,615	10,574	+3,958	+59.8%	-
設備投資	637	571	△65	△10.3%	-
減価償却費	461	570	+108	+23.5%	-
研究開発費	526	580	+53	+10.2%	-
ROA	4.7%	2.4%	-	-	-
ROE	7.2%	3.9%	-	-	-

機械部門：概況

- 売上高
 - Cos.Mec社の通期連結化（前年は第4四半期のみ連結）もあり増収。
 - 国内は順調。海外は部材調達逼迫の影響を強く受ける。
- 営業利益
 - 海外子会社の業績低調により営業利益減益。
- 受注・受注残高
 - 海外子会社の受注好調。国内もジェネリックの大型設備投資需要あり。
 - 連結受注残高は過去最高（連結受注額は過去2番目の高水準）。

(単位：百万円)	2021/2月期		2022/2月期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
売上高	11,171	+0.5	11,836	+6.0
営業利益	1,047	+236.8	623	△ 40.5
受注高	12,386	+21.1	15,621	+26.1
受注残高	6,615	+40.9	10,574	+59.8

機械部門：グループ会社別動向（売上・営業利益）

- 単体 : 一部期ズレ案件はあるも売上・営業利益は前年並みを確保。
- FREUND-VECTOR社 : 部材調達逼迫による出荷遅延等を主因に減収。
前年の特殊要因（補助金）の剥落により利益面も大幅減益。
- フロイント・ターボ社 : 産業用機械需要上向きにより、増収・増益。
- Cos.Mec社 : 主要マーケットである新興国のコロナ影響により低調。

(単位：百万円)	2021/2月期		2022/2月期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
売上高	11,171	+0.5	11,836	+6.0
単体	6,838	+9.3	6,865	+0.4
FREUND-VECTOR社	3,591	△10.1	3,135	△12.7
フロイント・ターボ社	1,422	△6.6	1,529	+7.5
Cos.Mec社	382	—	937	+145.3
営業利益	1,047	+236.8	623	△40.5
単体	737	+139.4	752	+2.0
FREUND-VECTOR社	283	—	△ 50	—
フロイント・ターボ社	26	△53.3	83	+217.4
Cos.Mec社	63	—	△ 162	—

機械部門：グループ会社別動向（受注高・受注残高）

- 単体 : ジェネリックの大型案件獲得により、受注残高は高水準。
- FREUND-VECTOR社 : ブラジル・米国向けが好調、受注残高は過去最高。
- フロイント・ターボ社 : 国内化学メーカーの設備需要取り込みにより、受注残高は過去最高。
- Cos.Mec社 : 新興国向け需要回復により、受注残高は過去最高。

(単位：百万円)	2021/2月期		2022/2月期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
受注高	12,386	+21.1	15,621	+26.1
単体	7,398	+25.0	7,218	△2.4
FREUND-VECTOR社	3,282	+11.1	5,588	+70.3
フロイント・ターボ社	1,293	△4.3	1,366	+5.7
Cos.Mec社	412	—	1,447	+250.7
受注残高	6,615	+40.9	10,574	+59.8
単体	4,618	+19.5	5,059	+9.5
FREUND-VECTOR社	841	+92.6	3,710	+341.0
フロイント・ターボ社	503	+27.4	620	+23.3
Cos.Mec社	652	—	1,183	+81.5

機械部門：地域別動向

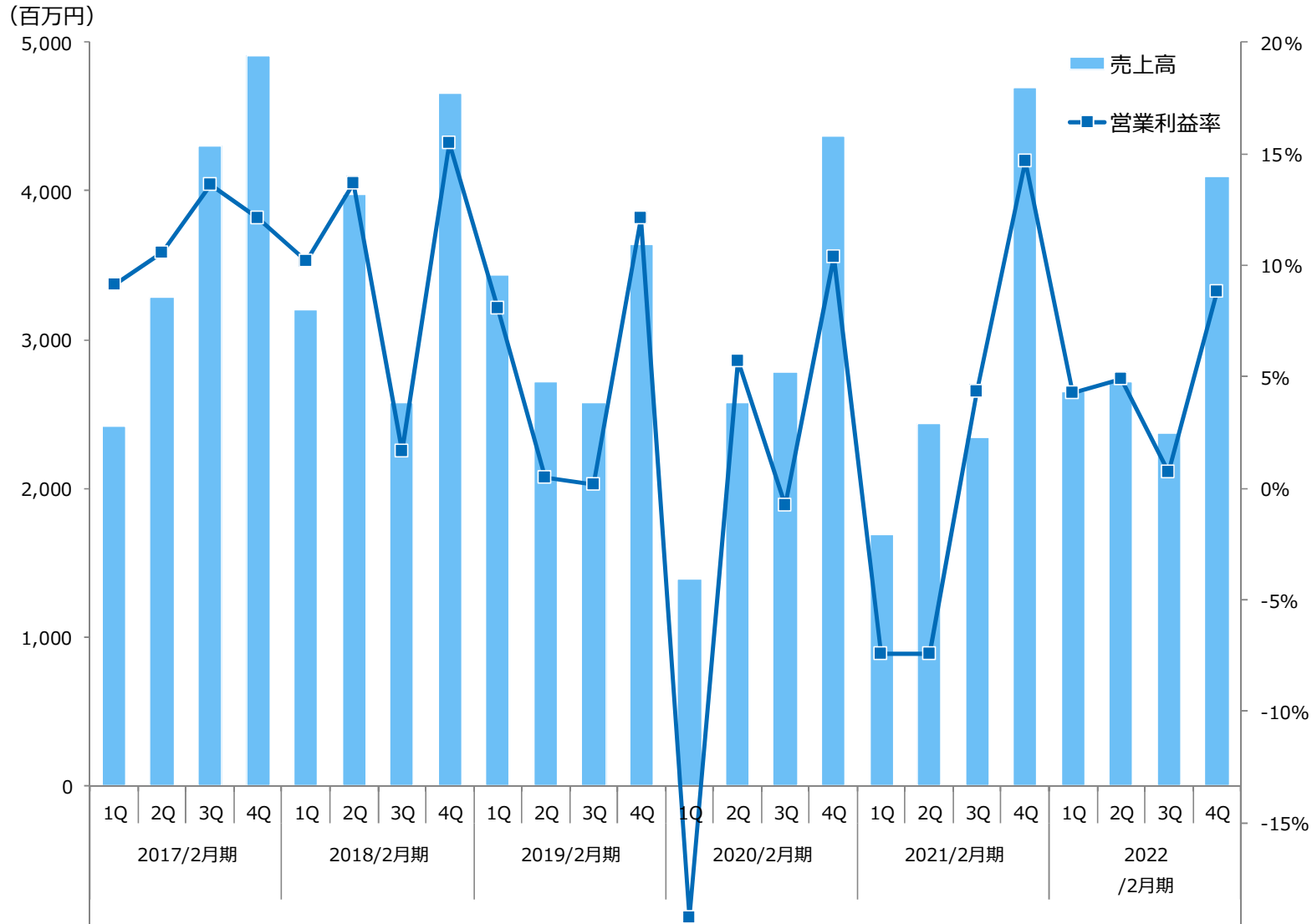
- 日本 : 国内向けはほぼ計画通り。
- 北米・中南米 : 受注好調なるも出荷の遅れあり。
- 欧州 : アイルランド向け大口案件、イタリア向けが寄与。
- アジア : 中国向けが減少したが、その他の国向けでカバー。

(単位：百万円)	2021/2月期		2022/2月期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
売上高	11,171	+0.5%	11,836	+6.0%
日本	6,696	+0.0%	7,034	+5.0%
海外	4,463	+0.9%	4,802	+7.6%
米国	1,570	+12.9%	1,388	△11.6%
中南米	642	△57.3%	881	+37.3%
欧州	572	+27.9%	835	+46.0%
アジア	1,224	+49.9%	1,365	+11.6%
その他	454	+71.3%	330	△27.2%

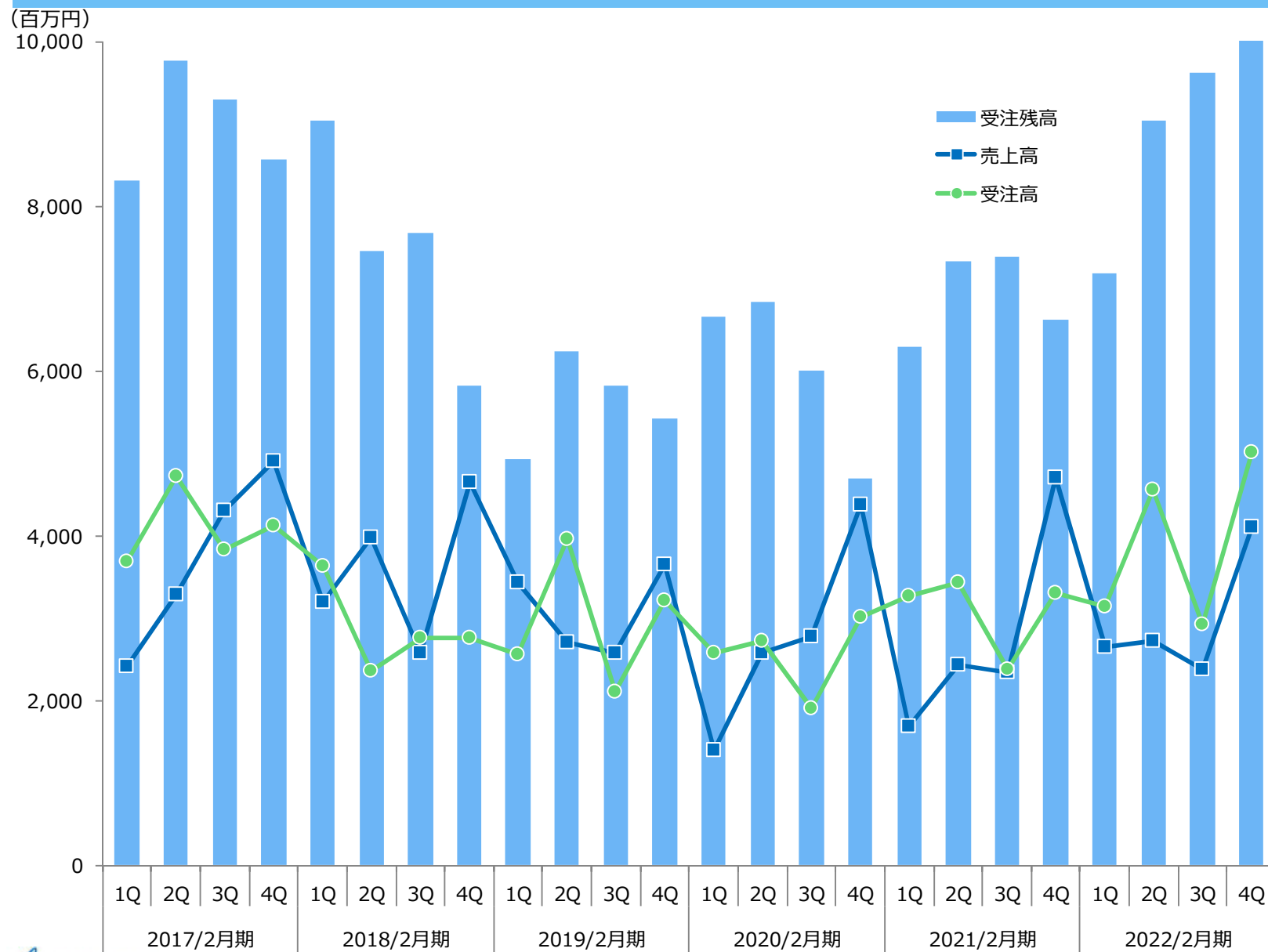
機械部門：四半期売上推移

【売上高】

【営業利益率】



機械部門：四半期推移（受注高・受注残高）



化成品部門：概況

● 売上高

- 医薬品添加剤：国内向け・海外向けとも好調。
- 食品品質保持剤：新規採用先の需要増などにより好調。
- 健康食品：大口ユーザーからの受託終了により大幅減収。
- 輸出：海外販売の裾野拡大中。

● セグメント利益

- 売上増加に加え、生産体制見直しによる原価率低減効果で増益。

(単位：百万円)	2021/2月期		2022/2月期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
売上高	5,593	△1.1	5,795	+3.6
医薬品添加剤	2,765	△3.6	3,251	+17.6
食品品質保持剤	1,889	△9.1	2,204	+16.7
健康食品	938	+33.2	340	△63.8
(輸出売上高) ※1	221	+42.0	326	+47.4
営業利益	546	△30.1	884	+62.0

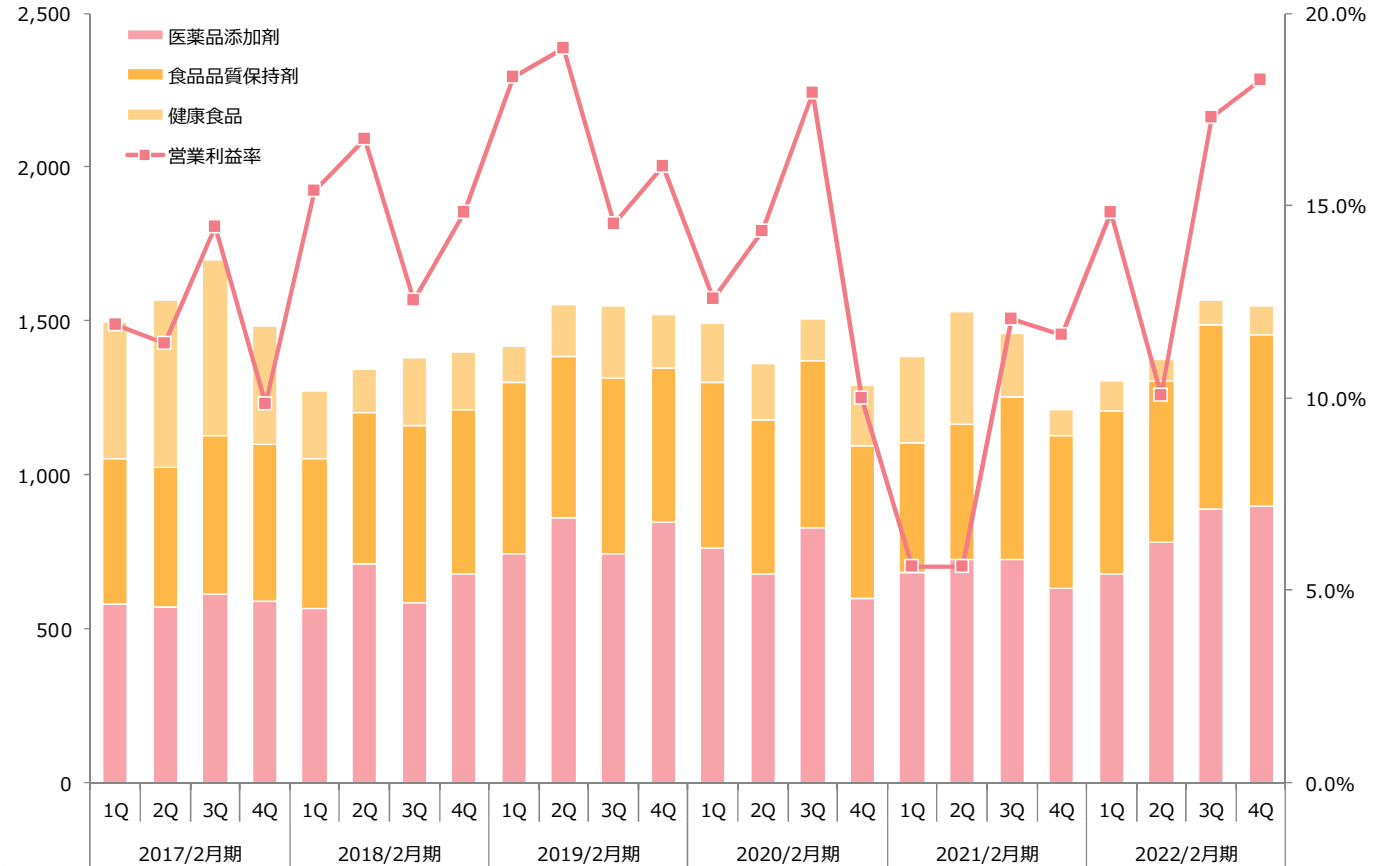
※1 主な輸出先：欧州・インド・韓国・中国・台湾等

化成品部門：四半期売上推移（分野別）

- 医薬品添加剤は安定的に漸増傾向。
- 食品品質保持剤はコロナ禍の影響から回復傾向。
- 健康食品は大幅減収。
- 低利益率の健康食品減収、及び原価率改善により全体の利益率は向上傾向。

【売上高】

(百万円)



【営業利益率】

連結損益計算書サマリー

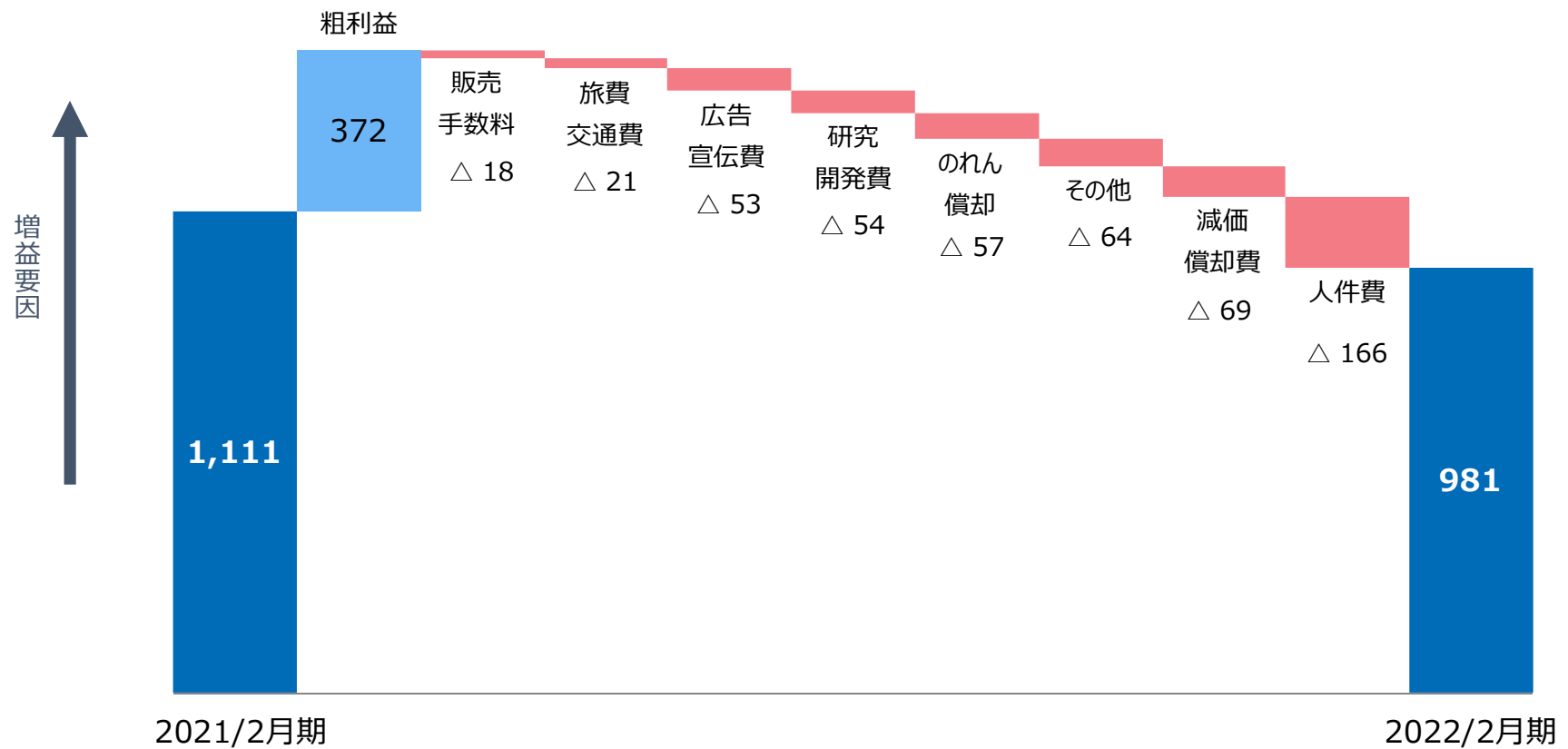
- 特別損失：約2.1億円計上により、当期純利益の減益幅拡大。
 - ・ 著作権侵害事案に係る和解関連費用：1.3億円
 - ・ 使用見込がなくなった設備の減損損失：0.8億円

(単位：百万円)	2021/2月期		2022/2月期		前年同期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
売上高	16,765	100.0%	17,632	100.0%	866	+ 5.2%
売上原価	11,126	66.4%	11,620	65.9%	+ 494	+ 4.4%
売上総利益	5,639	33.6%	6,011	34.1%	372	+ 6.6%
販管費	4,528	27.0%	5,030	28.5%	+ 501	+ 11.1%
営業利益	1,111	6.6%	981	5.6%	△129	△11.6%
営業外損益	197	1.2%	50	0.3%	△146	△74.2%
経常利益	1,308	7.8%	1,032	5.9%	△275	△21.1%
特別損益	△ 21	-	△ 204	-1.2%	△182	-
税引前利益	1,286	7.7%	828	4.7%	△458	△35.6%
当期純利益	970	5.8%	543	3.1%	△427	△44.0%

連結営業利益増減分析

- FREUND-VECTOR社の前年の補助金の特殊要因剥落に加え、Cos.Mec社の連結化により販管費が前年比増加。

(単位：百万円)



連結貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2021/2月期	2022/2月期	増減額
流動資産	13,558	15,004	+1,446
現金及び預金	4,498	4,145	△353
売上債権	4,870	5,228	+358
棚卸資産	3,473	5,090	+1,616
固定資産	7,016	7,269	+252
有形固定資産	4,734	4,562	△171
無形固定資産	1,291	1,434	+143
投資その他資産	990	1,271	+281
資産合計	20,575	22,273	+1,698
流動負債	5,817	7,035	+1,218
仕入債務	2,966	2,743	△222
前受金	1,170	2,805	+1,635
固定負債	898	883	△15
退職給付に係る負債	280	316	+35
負債合計	6,716	7,919	+1,202
純資産合計	13,858	14,354	+495
負債純資産合計	20,575	22,273	+1,698

棚卸資産

- ・商品及び製品 △132
- ・仕掛品 +933
- ・原材料及び貯蔵品 +816

前受金

- ・単体 +193
- ・FREUND-VECTOR社 +903
- ・Cos.Mec社 +594

連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

(単位：百万円)	2021/2月期	2022/2月期
営業キャッシュ・フロー	2,280	701
税引前利益	1,286	828
減価償却費	461	570
売上債権の増減額（△は増加）	674	△ 299
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 112	△ 1,430
仕入債務の増減額（△は減少）	△ 340	△ 154
法人税等の支払額	△ 174	△ 394
投資キャッシュ・フロー	△ 1,726	△ 680
有形固定資産の取得による支出	△ 469	△ 460
無形固定資産の取得による支出	△ 8	△ 236
財務キャッシュ・フロー	△ 371	△ 427
リース債務の返済による支出	△ 9	△ 39
配当金の支払額	△ 333	△ 335
現金及び現金同等物 増減額	184	△ 353
現金及び現金同等物 期末残高	4,498	4,145
フリー・キャッシュフロー	554	21

2023年2月期
連結業績・配当予想



連結業績予想サマリー

- 国内機械はジェネリック業界の設備増強計画により高水準の受注を想定。
- 海外子会社も過去最高の受注残高。
- しかしながら、部材調達逼迫によるリードタイムの長期化、部材価格の高騰は今期中続くことを想定。
- 今期は来期に向けての「踊り場」の期となる予想。

(単位：百万円/円)	2022/2月期	2023/2月期	前期比増減	
	(実績)	(予想)	金額	%
売上高	17,632	18,500	+867	+4.9
営業利益	981	700	△281	△28.7
経常利益	1,032	720	△312	△30.3
当期純利益	543	450	△93	△17.2
一株純利益	32.46	26.87	△5.59	△17.2
為替(円/ドル：+は円高)	111.49	120.00	-	-

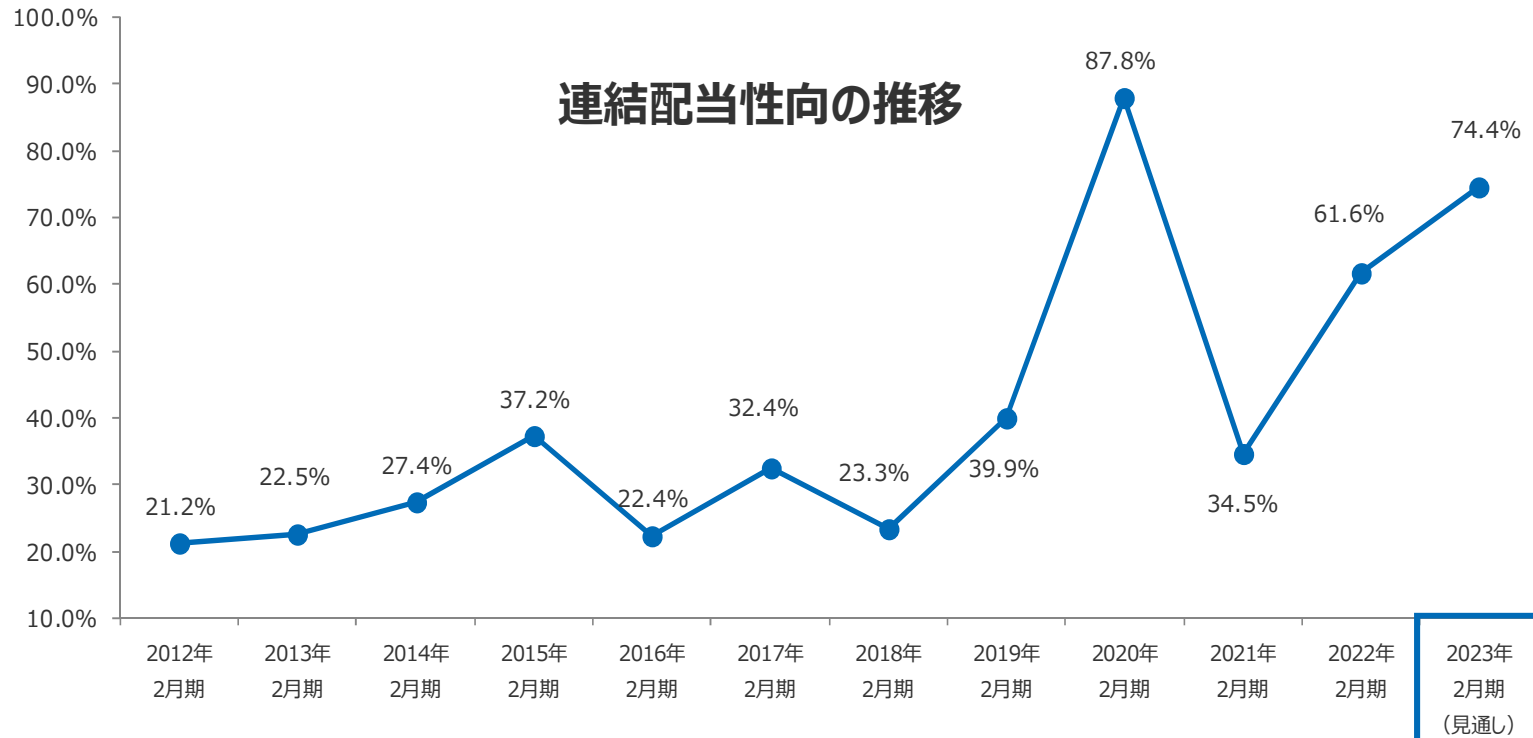
部門別業績予想サマリー

- 機械部門 : 日本・米国・イタリア・インド・中国の5極体制で新興国を含む世界カバレッジを高める
- 化成品部門 : 健康食品の減収を医薬品添加剤の増収でカバー

(単位:百万円)	2022/2月期		2023/2月期 (予想)		前期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
連結売上高	17,632	100.0	18,500	100.0	+867	+4.9
機械部門	11,836	67.1	12,700	68.6	+863	+7.3
化成品部門	5,795	32.9	5,800	31.4	+4	+0.1
セグメント利益	981	100.0	700	100.0	△281	△28.7
機械部門	623	63.5	-	-	-	-
化成品部門	884	90.1	-	-	-	-
全社、消去	△ 526	△ 53.6	-	-	-	-
為替(円/ドル: +は円高)	111.49	-	120.00	-	-	-

配当予想サマリー

- 2022年2月期は、安定配当の観点から昨年と同額の1株当たり20円の予定。
- 2023年2月期についても、1株当たり20円を予想。



当期純利益 (百万円)	608	765	787	695	961	1,064	1,477	843	381	970	543	450
1株当たり配当金 (円)	7.5	10.0	12.5	15.0	12.5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
発行済株式総数 (千株)	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400

(注) 2009年6月1日付け及び2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、2016年2月期以前の配当金は分割調整後の金額です。

第8次中期経営計画

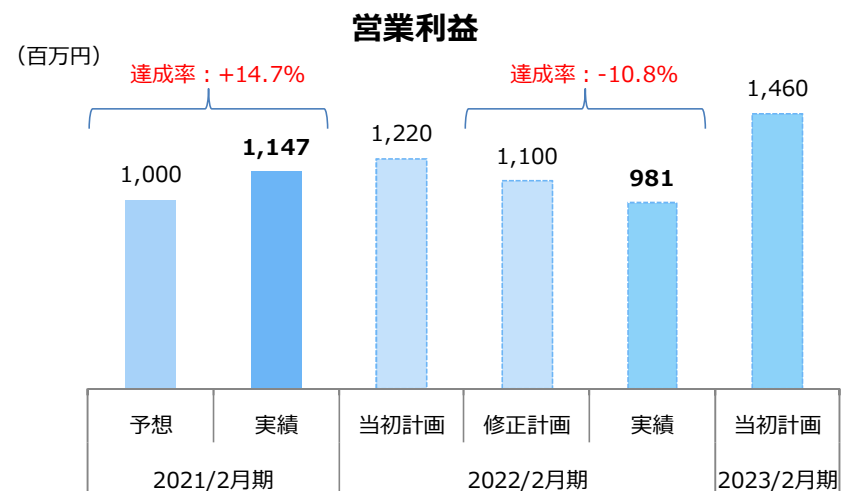
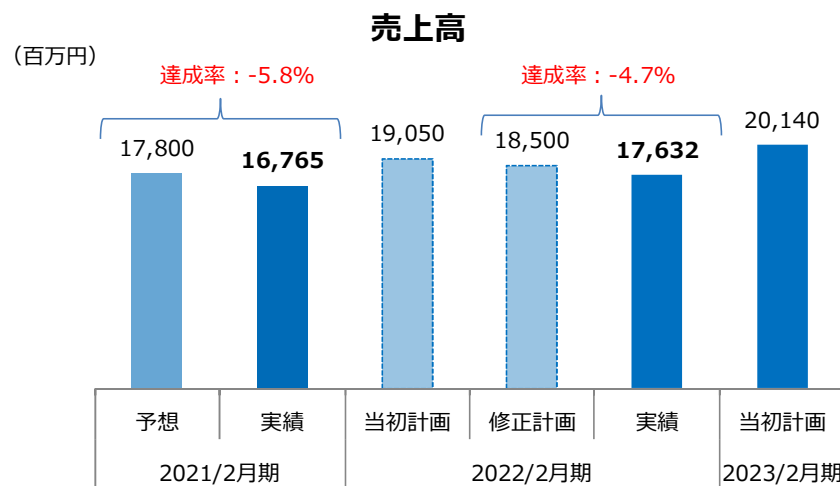


Copyright(C) 2022 Freund Corp. All rights reserved.



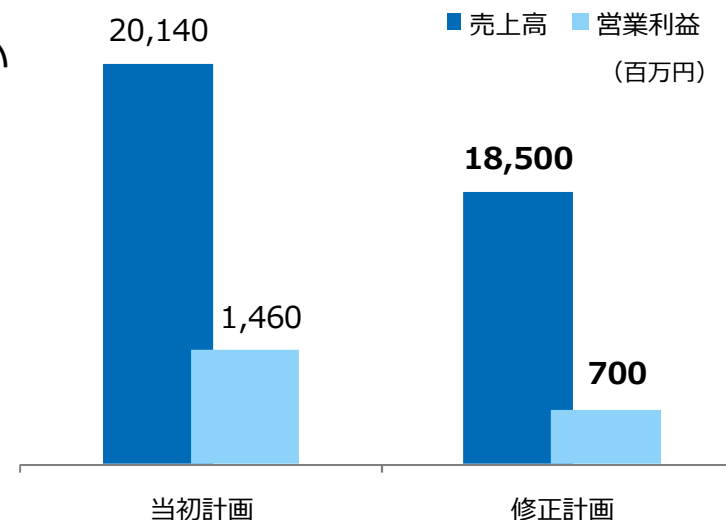
第8次中計2年目のレビュー

- 2022年2月期の連結売上190億円、連結営業利益12億円を目標としていましたが、コロナ禍の影響を勘案し、目標を各々185億円、11億円に下方修正しました。
- 連結売上実績は176.3億円と4.7%の未達、連結営業利益実績は9.8億円と10.8%の未達となりました。
- 海外子会社の受注は好調でしたが、特に米国において部材調達逼迫によるリードタイムの長期化が顕在化したことが大きな要因です。



第8次中計 最終年の見通し

- 中計最終年度である2023年2月期の当初目標は、連結売上201.4億円、連結営業利益14.6億円で、この目標を達成するために、日本・米国・インド・イタリア・中国のグローバル5極体制の整備を進めてまいりました。
- 海外子会社は過去最高の受注残を持ち、国内においてもジェネリック業界の設備増強が予定されるなど、受注環境は良好です。
- しかしながら、前期後半に顕在化した米国における部材調達の遅れによる出荷の遅延が、今期は日本においてもその影響が顕在化する見通しとなりました。
- こうしたサプライチェーンの混乱による影響が今期は色濃く出ることが想定されるため、今期の業績予想は慎重に想定せざるを得ない状況です。
- 以上を踏まえて、今期は連結売上185億円、連結営業利益7億円と予想しています。



第8次中期経営計画

企業理念

創造力で未来を拓く

経営ビジョン

フロイントグループは、
「世界中の人々の医療と健康の未来に貢献し、
豊かな生活・食の安全・安心を支える技術を生み出し、育成していくことを目指します」

大切にする価値

ONE
FREUND



特別な価値創造

それぞれの分野、事業で
No.1を目指す



完全顧客視点

顧客、社会にとって
Only Oneの存在を目指す



ネットワーキング

グループがひとつになる

基本戦略

顧客の真のニーズに技術力をもって応え、
持続的に利益成長する経営構造の実現を目指す

7つの経営目標

1. グループの連携
2. 完全顧客視点
3. イノベーション重視
4. グローバル経営
5. 成長戦略の実行
6. 業務改革と働き方改革の推進
7. コンプライアンス・コーポレートガバナンスの重視

第8次中期経営計画：7つの経営目標

1. グループの連携

グループ3社が一体組織としての意識を持ち、営業・開発で業務連携し、連結業績目標を達成する

2. 完全顧客視点

すべての面で最高の品質の製品を、お客様に満足できる価格とスピードをもって提供する

3. イノベーション重視

開発特化型企业として新製品開発に重点的に資源を投下するとともに開発計画の進捗管理を徹底する

4. グローバル経営

国内のシェアを高めつつ、顧客の海外市場シフトと海外市場の質重視のトレンドにグループ一体で対応する

5. 成長戦略の実行

M&A、事業アライアンス等により次の中計の基盤となる新事業の開拓、既存事業の非Organicな強化を図る

6. 業務改革と働き方改革の推進

非効率な仕事を排除し、働きやすい職場と高効率な企業体質を実現する

7. コンプライアンス・コーポレートガバナンスの重視

生産・品質管理体制の向上、内部統制の充実を図り、顧客や社会の信頼に応える健全な事業体制整備を進める

(参考資料)

- ・ プロフィール
- ・ セグメント情報

プロフィール

-
- 社名 : フロイント産業株式会社
 - 設立 : 1964年4月
 - 代表者 : 代表取締役社長 伏島 巖
 - 所在地 : 東京都新宿区西新宿六丁目25番13号
 - 資本金 : 10億3,560万円 (2022年2月末現在)
 - 売上高 : 176億円 (2022年2月期：連結)
 - 従業員 : 476名 (2022年2月末現在：連結)
 - 事業内容 : 機械事業 …… 造粒・コーティング装置等の製造販売
化成品事業 …… 医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
 - グループ会社 : FREUND-VECTOR CORPORATION
フロイント・ターボ株式会社
Cos.Mec s.r.l.
Parle Freund Machinery Private Limited
-

独創的技術でのグローバル化を積極的に推進



ビジネスモデルの特徴は「Pen」と「Ink」

1. 機械部門



Pen

- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに造粒、コーティング装置などを製造・販売
- コーティング装置の国内販売シェアはトップ
アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速
世界で製剤技術と機械装置を唯一共有する
- 造粒・コーティング技術に粉碎・分級技術を融合させることで産業向け装置の拡販も注力

2. 化成品部門

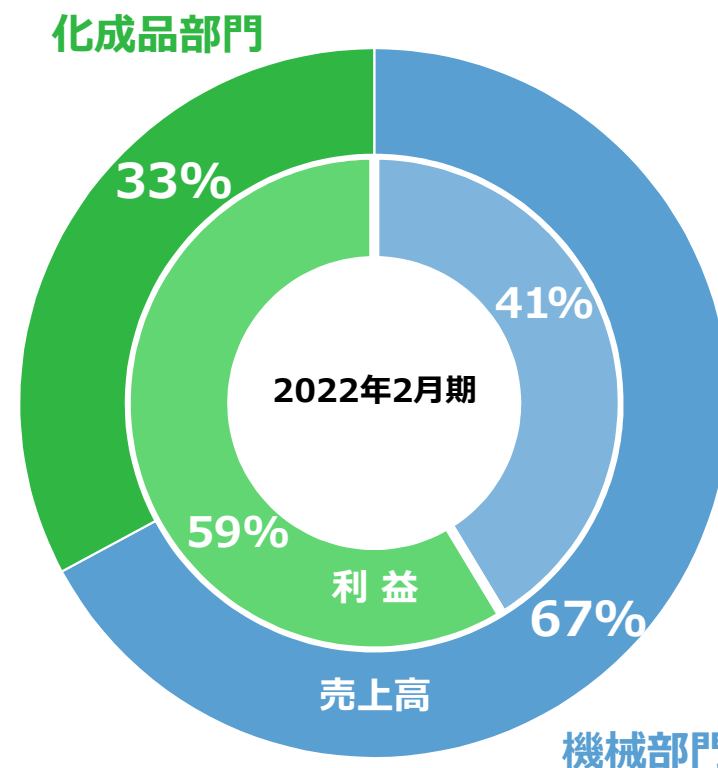


Ink

- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売
- 医薬品添加剤は、GMP※1対応設備で生産
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化

※1 GMP : Good Manufacturing Practice

セグメント別 売上高及び利益構成

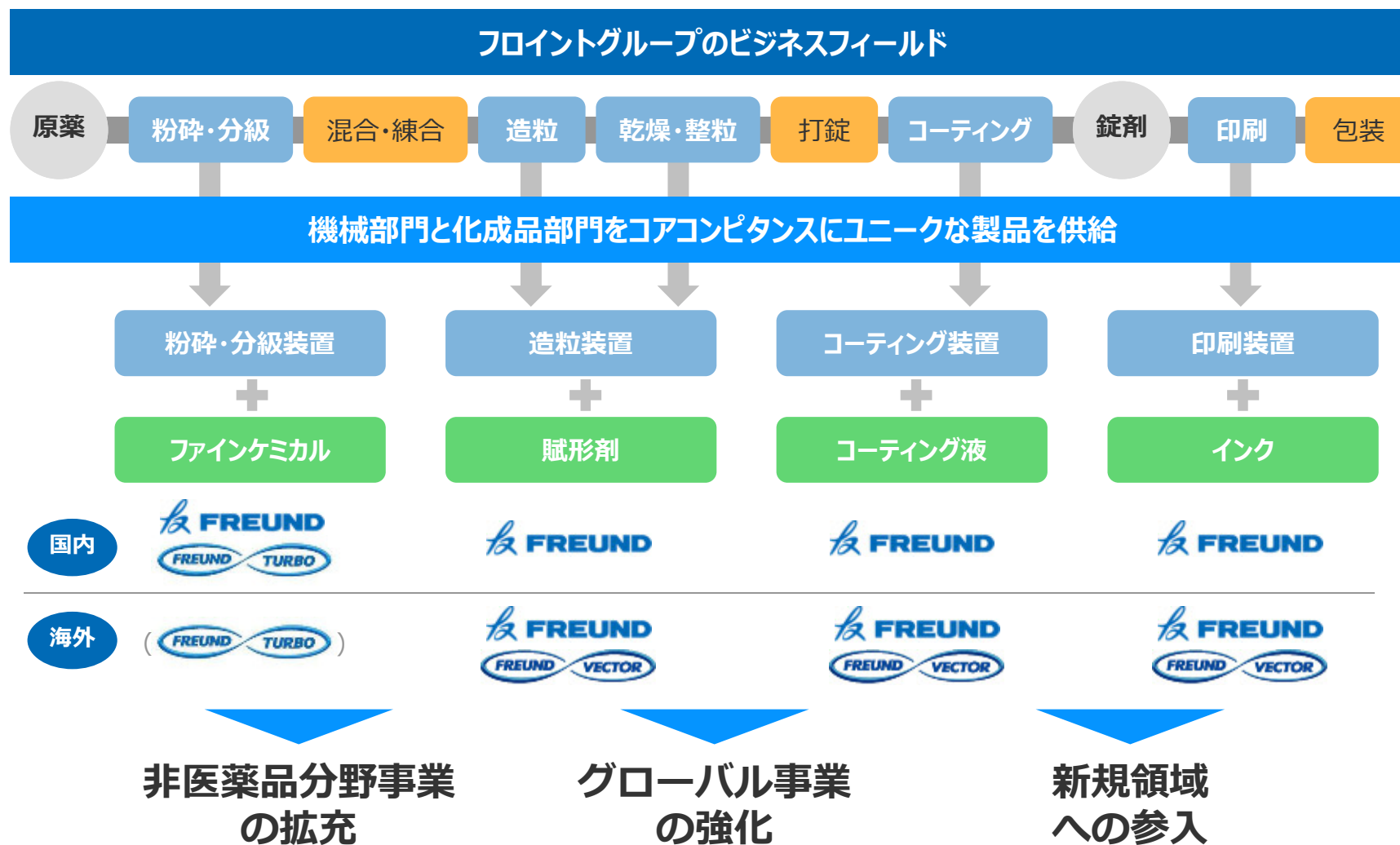


連結売上高 176.3億円

連結営業利益 9.8億円

グループのビジネスフィールド

- 医薬品の製造工程に基づくフロイントグループの事業領域



フロントグループ ディスクロージャーポリシー

1. 情報開示の基本方針

当社は、広く社会に信頼される企業として、経営の透明性向上を重要な責務のひとつと考えています。その考えに基づき、すべてのステークホルダーの皆さまに、会社情報の公平かつ適時適正な開示を継続的に行います。

2. 情報開示の基準

当社は、会社法、金融商品取引法などの関係法令および当社が上場する証券取引所が定める適時開示に関する諸規則にしたがって、情報開示を行います。

当社は、関係法令および適時開示に関する諸規則に該当しない情報であっても、株主・投資家の皆さまの投資判断にとって必要であると考えられる情報については、積極的に開示いたします。

3. 情報開示の方法

当社は、東京証券取引所の提供する適時開示情報伝達システム（Timely Disclosure network、以下「TDnet」という）を通じて情報を開示いたします。TDnetにより開示した情報は、情報開示の適時性・公平性に配慮し、速やかに当社のインターネットホームページに掲載いたします。

そのほかの情報についても、適時開示の趣旨に則り、プレスリリース、当社のインターネットホームページへの掲載などにより公平かつ迅速に開示いたします。より多くのステークホルダーの皆さまに分かりやすい開示を行うため、開示情報は日本語とあわせ、その英訳の開示に努めます。

4. インサイダー取引の未然防止

当社は、内部情報の適切な管理および株式などの売買などについて遵守すべき基本事項を社内規則に定め、インサイダー取引規制の周知徹底と株式などの売買管理体制の適切な運用により、インサイダー取引を未然に防止します。

5. 沈黙期間

当社は、決算情報の漏洩を防止し、法令遵守および公平性を確保するため、各四半期決算期日の翌日から当該決算発表日までを「沈黙期間」と定めます。当該期間中は、決算に関連するコメントや質問・照会に対する回答は差し控えさせていただきます。ただし、業績が予想と大きく乖離する可能性がある場合には、適時開示に関する諸規則に従い適時適正に開示いたします。

6. 将来予測について

当社が開示する情報の中には、業績予想以外にも戦略、事業計画などの将来予測に関する情報が含まれておりますが、これらの情報は作成段階において入手可能な情報をもとに判断したものであり、その後の経済情勢や市場環境の変化などによって、将来予測は大きく異なる可能性があります。

(2017年3月27日制定)

I R活動の方針

株主・投資家との建設的な対話に関する方針

当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をめざし、株主・投資家の皆様との建設的な対話を積極的に進めます。当社の経営方針や経営状況、企業文化をわかりやすく説明し、株主・投資家の皆様のご理解を得て、「FREUNDファン」として継続的にご支援いただけるように努めます。

1. 推進体制株主・投資家の皆様との対話

取締役CFOが統括し、IR担当部署の経営企画本部が担います。

株主の皆様との対話を促進するため、社内の関連部門は、開示資料の作成・審査や必要な情報の共有など、積極的に連携を図り、公正且つ迅速に情報開示を行います。

2. ステークホルダーとの対話

当社は期末及び第2四半期の決算説明会（第1・3四半期はスモールミーティング）を実施し、その情報は当社ウェブサイト公開します。また、中長期経営計画を策定した際には、経営戦略や経営計画についてわかりやすく説明いたします。さらに、機関投資家への訪問も積極的に実施し、経営方針や業績の説明を行います。また、証券会社主催の投資家フォーラムや個人投資家説明会等にも参加します。

株主通信やFREUND Report（統合報告書）の発行、ウェブサイト専用ページ（<https://www.freund.co.jp/ir/>）の開設などにより、事業や財務情報とともに財務諸表に載らない資産（見えない資産）を紹介することで当社グループの企業価値を正しくご理解いただけるように、情報開示の充実に努めます。

3. 株主・投資家からの意見を社内へフィードバックする仕組み

株主・投資家の皆様との対話において把握された意見は、社長、取締役や関係各部に適宜報告し、情報を共有します。

4. インサイダー情報の管理

各四半期の決算期末日より決算発表日までの期間はサイレント（沈黙）期間とし、投資家の皆様との対話を制限しています。インサイダー情報については、社内の内部情報管理・内部者取引規制に関する規程に従い、情報管理の徹底を図っています。

〈お問い合わせ先〉
フロイント産業株式会社
経営企画本部 経営企画部・経理部

TEL:03-6890-0767

FAX:03-6890-0870

E-Mail : ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。